

水質改善で「百舌鳥・古市古墳群」の世界遺産登録を後押し!!

大阪府藤井寺市

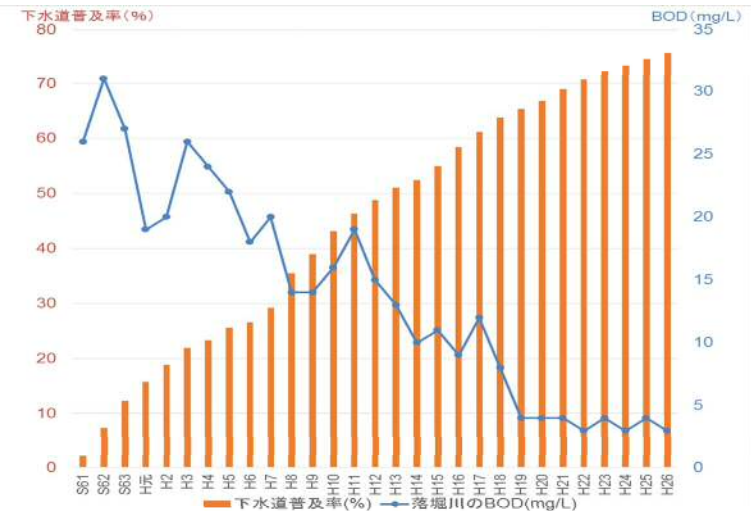
- 下水道の整備により古墳周濠の水質改善
- 一方、下水道の未整備地区では、水質汚濁が深刻化
- 下水道の整備促進を図り、世界遺産にふさわしい水環境を目指す



下水道の普及に伴い悪化していた古墳周濠の水質が改善され、多くの水鳥が飛来



一方、下水道の未整備地区では、生活排水の流入により水質が悪化



藤井寺市の下水道事業は、昭和61年11月に供用開始した後、大井、今池、川俣の3つの処理区において事業を推進し、平成26年度末には下水道普及率が75.7%となり、これまで河川や池などの公共用水域の水質改善に大きく寄与している。